

園芸市場情報

平成30年4月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

4月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年並か！

花きは、入荷量は前年並で、相場は前年を上回るか！

<今月の写真>

* アリオ札幌店 千葉県フェア開催！ *

平成30年3月17日(土)から19日(月)まで、アリオ札幌店で千葉県フェアが開催されました。

主産地が、昨年10月の台風や、その後の低温・乾燥の影響を受けたことなどから、野菜の入荷減と高値が続いていたため、今回のフェアでは、やっと出そろった千葉の新鮮で一足早い春野菜等を、お客様が争って買う光景が見られました。

2年続けてフェアを開催して頂いた店舗関係者の方々は、「北海道には、道産は何でも良い物。あとは値段だけという風潮があるが、この時期の千葉県の本当に美味しい野菜を味わって、評価して買ってもらえるようにしたい。」と意気込みを語っておられました。

北海道の春は5月です。雪の下野菜もありますが、この時間差を利用した有利販売の可能性をオール千葉で検討しても良いのではないのでしょうか。次年度の開催をお願いし帰途につきました。



広いフェア会場
新鮮な野菜を山と積んで準備OK！



やっと出荷に漕ぎ着けたキャベツ
補充をしてもすぐに売れてしまいました



最終的に6本しか残らなかったさつまいも
マネキンさんから喜びの報告です



北海道はまだまだ雪の中でした

CONTENTS (目次)

I 青果情報

- 01 3月（中旬まで）の経過
 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
 04 4月の見通し
 05 今月の青果物
 特集「キャベツ」

II 花き（切花）情報

- 06 3月（中旬まで）の経過（販売経過、品目別経過）
 4月の見通し（カーネーション・カラー）
 2月の入荷量と単価の経過 <確定値>

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 07 2月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 08 コストカット

V 首都圏掲示板

- 09 カラー産地見学会及びフェアの開催
 読者の皆様へのお知らせ

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の幅を示す用語	平年並	: ±2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ±3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ±6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 2月下旬～3月中旬までの経過

気象	<p>2月下旬から冬型の気圧配置が緩み、全国的に暖かい日が多くなった。</p> <p>気温は、全国的に平年を上回り、特に東・西日本は暖かくなった。</p> <p>降水量は、全国的に多くなり、日本海側の一部を除き、平年を上回った。</p> <p>日照時間は、日本海側は平年を上回ったが、全国的には平年並だった。</p>
----	--

野菜類

入荷量	<p>関東産、西南暖地産を中心に入荷した。</p> <p>低温・乾燥の影響を受けた2月下旬は、ほとんどの品目で前年を下回ったが、3月に入り4月並の高温となるなど高温で推移し、適度な降雨もあったことから、「ほうれんそう」「ねぎ」「レタス類」等、多くの品目で生育が回復し、野菜全体では、2月下旬から3月中旬の入荷量は113,126t（前年比101.5%）と前年並となった。</p>
相場	<p>生育は多くの品目で回復傾向となった。価格は、2月は前月の影響から高値となったが、3月に入り下落傾向となった。</p> <p>2月下旬から3月中旬までの価格は、「大根」（前年比157.7%）「キャベツ類」（前年比144.3%）「ねぎ」（前年比125.0%）などで大幅な高値となった。野菜全体では、277円/kg（前年比107.7%）と前年をかなり上回った。</p>

果実類

入荷量	<p>「かんきつ類」「みかん類」「りんご類」「いちご類」を中心に出回った。</p> <p>入荷量は、気温高により入荷が回復した「いちご類」は前年を上回ったが、裏年の「みかん類」や小玉傾向の「かんきつ類」「りんご類」は前年を下回った。</p> <p>果実全体では、入荷量は2月下旬から3月中旬で28,552t（前年比95.8%）と少なかった前年をやや下回った。</p>
相場	<p>価格は、果実全体の不足感が継続した。「みかん類」は高かった前年並、「かんきつ類」は高かった前年を上回った。貯蔵量の少ない「りんご類」は引き合いが強まり、前年を上回った。</p> <p>果実全体では、2月下旬から3月中旬までの価格は491円/kg（前年比108.8%）と高かった前年をかなり上回った。</p>

東京都中央卸売市場における入荷量と価格

平成30年2月下旬～3月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	2月下旬				3月上旬				3月中旬				2月下旬～3月中旬合計			
	開市日数 本年5日・前年6日				開市日数 本年8日・前年8日				開市日数 本年7日・前年6日				開市日数 本年20日・前年20日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	27,165	80.1	312	122.0	44,831	105.4	286	113.0	41,131	117.6	243	92.5	113,126	101.5	277	107.7
うち外国産	1,366	112.3	228	86.6	2,119	135.0	219	82.8	1,703	133.2	209	74.0	5,188	127.6	218	80.8
果実総量	7,636	79.9	494	110.6	11,240	100.5	502	110.6	9,675	106.9	477	105.1	28,551	95.8	491	108.8
うち外国産	898	86.2	229	103.2	1,467	105.2	229	104.2	1,353	111.7	225	102.8	3,719	102.0	228	103.4

主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	2月下旬				3月上旬				3月中旬				2月下旬～3月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	2,151	69.7	176	189.6	3,733	90.8	169	178.9	4,040	122.9	105	120.8	9,924	94.6	144	157.7
にんじん	1,478	83.2	175	101.4	2,231	101.0	179	97.4	1,820	89.3	203	111.6	5,530	91.8	186	103.3
はくさい	2,691	92.3	184	179.1	3,428	111.3	159	160.1	2,202	110.5	122	96.5	8,320	104.2	157	146.5
キャベツ類	3,049	72.9	280	215.9	5,109	93.5	183	154.1	6,124	124.2	124	100.1	14,282	98.0	178	144.3
ほうれんそう	392	79.7	505	135.5	706	122.7	382	113.9	531	143.6	368	81.3	1,628	113.4	407	107.6
ねぎ	936	82.5	466	137.1	1,435	106.7	457	132.7	1,188	106.8	365	106.1	3,559	99.1	429	125.0
レタス類	1,566	74.1	314	148.2	3,227	114.8	221	129.5	3,357	165.6	136	71.3	8,150	117.2	204	107.9
きゅうり	1,321	86.8	312	109.2	2,335	115.3	313	107.5	1,975	115.0	307	105.3	5,632	107.0	311	107.2
なす	352	73.8	565	116.9	651	93.5	503	110.0	643	95.0	467	109.0	1,646	89.0	502	110.8
トマト	1,348	80.4	387	104.5	2,340	108.7	372	101.1	2,039	116.2	351	93.0	5,728	102.6	368	99.0
ピーマン	348	70.0	672	124.1	647	101.0	629	128.4	578	98.9	554	114.5	1,573	91.4	611	121.5
さといも	103	63.3	316	114.3	175	86.8	320	122.3	150	87.0	276	102.8	428	79.8	303	113.2
ばれいしょ類	1,644	88.1	122	54.0	2,712	111.8	120	53.2	2,328	112.2	112	48.7	6,684	105.0	118	51.8
たまねぎ	2,795	87.9	122	111.5	4,071	105.8	124	101.7	3,532	105.7	129	99.8	10,398	100.3	125	103.9
生しいたけ	147	85.4	1,038	97.6	247	117.1	963	94.0	202	115.0	903	90.9	597	106.7	961	93.6
かぼちゃ	670	96.9	131	74.0	1,057	117.7	128	67.2	880	139.8	117	55.2	2,607	117.5	125	65.0
さやえんどう	37	68.2	1,305	123.7	76	99.6	1,128	106.0	79	119.8	859	82.3	192	97.7	1,052	99.7
かんしょ	647	79.9	220	104.2	997	104.3	222	103.3	806	106.2	217	99.8	2,450	97.1	220	102.5
かぶ	281	75.6	192	135.2	478	105.8	155	110.6	468	144.7	131	86.3	1,227	107.0	154	107.1
ごぼう	140	71.8	401	99.0	193	82.9	426	96.7	136	66.8	434	103.1	468	74.3	421	99.4
こまつ菜	249	76.7	442	141.2	469	114.4	314	131.6	436	141.2	224	78.8	1,154	110.6	308	111.8
こねぎ	84	77.6	1,158	137.3	167	114.7	946	124.4	146	113.4	744	104.6	397	103.8	917	119.4
糸みつば	36	84.0	479	111.0	71	107.2	537	119.0	50	115.2	370	91.8	158	102.9	471	108.9
しゅんぎく	73	77.3	764	171.1	104	107.4	503	129.2	65	100.9	514	108.5	243	94.6	585	135.4
にら	181	78.4	902	131.6	298	102.0	688	127.4	274	106.0	548	100.4	753	96.4	688	117.7
セルリー	197	83.8	311	142.1	331	110.1	315	119.6	311	113.8	273	108.8	839	103.7	298	121.2
カリフラワー	76	57.9	292	146.7	163	147.8	217	100.3	91	125.4	221	77.9	331	105.0	235	104.8
ブロッコリー	611	57.8	454	174.5	1,438	111.3	311	126.5	1,390	154.0	281	92.4	3,439	105.8	324	121.6
サラダな	22	85.6	625	154.7	39	118.4	482	132.8	34	109.3	340	104.2	94	105.9	464	128.2
バセリ	12	74.8	1,138	127.0	23	109.9	891	109.3	20	108.9	786	99.8	55	99.5	906	109.3
チンゲンサイ	91	84.3	391	127.1	154	106.0	326	127.9	136	116.9	269	101.7	381	103.1	321	117.5
エンダイブ	2	56.3	1,046	159.1	5	85.5	778	143.5	5	121.1	605	99.0	12	87.0	761	127.6
ミニトマト	360	89.4	683	98.3	640	122.7	651	94.3	576	123.6	592	86.6	1,575	113.4	637	92.3
とうもろこし	2	100.8	477	105.7	5	124.7	402	87.5	3	84.9	435	94.6	11	105.1	428	93.7
いんげん	77	99.0	873	107.4	118	128.1	822	99.5	87	119.2	845	94.5	282	116.1	843	100.1
そらまめ	18	34.3	1,196	149.7	43	50.4	1,097	155.9	65	75.0	820	122.1	125	56.1	968	135.7
えだまめ	1	78.6	2,358	103.7	1	107.3	2,305	103.5	1	10.6	2,318	252.3	3	30.2	2,323	189.1
やまといも	29	76.8	624	97.4	49	112.4	618	96.0	44	142.8	601	90.6	122	108.6	613	94.7
根しょうが	69	79.1	557	100.7	113	115.2	594	93.0	98	107.2	621	95.1	280	101.1	594	96.4
マッシュルーム	33	92.8	915	105.5	55	121.2	867	100.0	45	114.7	857	103.8	132	110.7	876	102.6

品目 (果実)	2月下旬				3月上旬				3月中旬				2月下旬～3月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	1,349	77.9	355	111.3	1,259	113.7	331	96.0	600	88.2	312	79.2	3,208	91.1	337	98.8
(普通みかん)	1,336	77.7	350	111.0	1,243	115.0	322	97.1	586	88.2	295	77.5	3,164	91.4	329	98.8
かんきつ類	2,453	75.1	342	113.4	3,933	97.6	338	106.2	3,817	112.0	326	103.0	10,203	95.3	335	107.0
りんご類	1,521	83.2	310	113.7	2,245	85.9	322	119.8	2,084	97.3	331	122.8	5,850	88.9	322	119.3
(ふじ)	1,248	82.2	310	112.9	1,847	84.1	324	121.6	1,708	95.7	334	124.7	4,804	87.4	324	120.4
いちご類	1,256	86.5	1,270	106.5	2,064	122.1	1,228	101.6	1,559	117.1	1,210	100.3	4,879	109.1	1,233	102.5
(とちおとめ)	613	89.3	1,180	102.1	989	118.9	1,133	99.5	725	120.3	1,101	100.6	2,327	109.7	1,136	100.3
(あまおう)	251	92.4	1,461	107.3	387	141.8	1,422	99.9	267	114.5	1,412	97.8	904	116.4	1,430	101.5
メロン類	124	121.8	610	69.6	229	148.3	658	75.6	200	137.9	784	87.8	553	137.8	693	78.7
(アールスメロン)	43	77.3	1,290	110.4	75	99.0	1,455	119.3	75	108.2	1,554	113.0	193	96.1	1,457	115.7
びわ	0	87.5	5,282	83.7	1	50.8	5,392	126.3	2	65.2	4,759	128.1	2	65.0	4,972	127.2
すいか類	19	50.2	456	124.9	73	73.9	411	99.8	96	86.3	445	106.6	188	75.8	433	106.4
(すいか大王)	13	39.9	352	107.8	53	73.6	332	94.6	56	75.0	356	104.5	123	68.0	345	100.9
(こだますいか)	6	111.7	679	113.7	20	75.0	623	107.9	40	110.2	571	98.8	65	96.6	597	103.1
日本なし類	1	40.7	276	76.7	3	193.5	284	115.7	7	300.6	230	94.0	11	173.9	251	87.1
ぶどう類	7	22.6	568	132.3	18	40.6	517	123.4	24	51.9	451	112.9	49	40.1	492	118.8
かき類	32	150.2	386	95.5	23	125.0	486	104.1	10	75.9	598	101.7	65	123.3	453	96.3

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	2月下旬				3月上旬				3月中旬				2月下旬～3月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	707	76.9	177	179.9	1,346	106.1	175	175.0	1,675	165.1	118	124.0	3,728	116.4	150	152.8
にんじん	1,124	98.5	182	102.2	1,585	127.0	186	97.6	987	134.8	208	121.1	3,696	118.4	190	105.0
キャベツ類	475	36.8	273	215.2	966	59.7	185	159.5	1,190	108.1	118	96.7	2,631	65.6	171	140.8
ほうれんそう	59	65.3	440	148.4	109	110.2	335	122.7	73	129.8	299	85.1	241	98.1	350	116.8
ねぎ	396	84.2	494	145.8	686	117.0	495	142.9	547	115.9	391	113.6	1,628	106.6	460	133.9
レタス類	133	87.7	274	141.6	191	118.6	205	125.0	156	157.1	152	86.7	480	116.5	207	116.5
きゅうり	226	78.4	292	106.2	387	118.1	293	106.6	283	96.6	286	105.9	896	98.6	291	106.3
なす	2	102.2	641	107.8	3	63.4	601	101.6	6	122.3	589	101.4	10	96.1	600	102.2
トマト	58	66.4	373	109.2	101	97.9	354	104.0	96	97.9	338	97.6	255	88.3	352	102.8
ピーマン	0	50.0	1,198	107.1	0	33.3	1,056	114.0	1	34.1	780	127.4	1	35.8	920	121.2
さといも	34	88.0	307	125.1	58	93.9	273	130.7	49	111.9	204	83.7	141	97.7	257	112.3
かんしょ	343	83.7	213	110.8	503	103.6	211	103.9	449	111.2	208	101.4	1,295	99.7	210	105.0
かぶ	258	76.3	192	135.0	437	105.5	154	109.6	430	145.9	129	84.3	1,125	107.5	153	105.9
こまつ菜	12	74.2	376	119.8	25	129.8	251	102.8	17	111.3	228	86.5	54	106.6	271	99.7
しゅんぎく	30	77.1	744	172.7	38	113.5	517	132.8	18	105.0	529	109.0	86	95.9	599	140.8
サラダな	9	94.2	616	169.2	14	120.8	473	140.0	11	116.4	336	103.3	35	111.1	467	136.4
パセリ	6	89.7	1,000	125.9	12	122.4	804	113.6	9	112.7	750	104.6	27	110.0	831	113.0
ミニトマト	29	80.3	726	94.8	43	101.4	708	93.3	41	108.6	665	87.9	113	97.2	697	91.7
やまといも	19	76.2	615	96.6	33	119.8	615	97.2	30	156.7	598	92.4	82	114.5	609	95.4

品目 (果実)	2月下旬				3月上旬				3月中旬				2月下旬～3月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
メロン類	3	63.9	1,236	113.7	4	91.5	1,401	120.9	5	92.7	1,720	130.4	12	83.0	1,491	124.8
(アールスメロン)	3	63.9	1,236	113.7	4	91.5	1,401	120.9	5	92.7	1,720	130.4	12	83.0	1,491	124.8

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。-は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料: 東京青果物情報センター速報

2 4月の見通し

野菜

春物野菜の最盛期となり、関東が中心産地となる。

天候の回復に伴い、生育順調となり、「だいこん」「ほうれんそう」は前年を上回るほか、「キャベツ類」「ねぎ」「きゅうり」「トマト」等多くの品目で前年並となり、野菜全体の入荷量は、前年を上回る見込み。

価格は、長らく続いた高値から反発し、ほとんどの品目で下げに転じ、野菜全体では前年を下回る見込み。

果実

「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」に加え、「すいか類」「メロン類」の他、「びわ」「おうとう」「マンゴー」などの入荷が増えてくる。

入荷量は、低温による品質低下と小玉傾向の「かんきつ類」、貯蔵量の少ない「りんご類」は前年を下回る見込み。「すいか類」「メロン類」は交配期の低温の影響により小玉傾向で前年を下回る見込み。果実全体では、前年を下回る見込み。

価格は、果実全体で不足感が続く予想から、高値基調が継続する見込みで、高かった前年並の見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	↗	⇒	↘	↘	主産地は千葉県。気温高と適度な降雨により生育順調。入荷量は、少なかった前年を上回り、平年並の見込み。
キャベツ類	⇒	↗	↓↓↓	⇒	主産地は神奈川・愛知県。両県とも、乾燥の影響は回復に向かっている。入荷量は、多かった前年並の見込み。
ほうれんそう	↗	↗	↘	↓↓↓	主産地は茨城・群馬県。両県とも生育は順調。入荷量は前年及び平年を上回る見込み。
ねぎ	⇒	⇒	↓↓↓	⇒	主産地は千葉・埼玉県。一部生育遅延ぎみの産地もあったが、高温・適度な降雨で回復。入荷量は前年及び平年並の見込み。
きゅうり	⇒	↘	↘	↘	主産地は群馬・埼玉県。群馬県は順調。埼玉県は低温・曇天の影響から回復しつつある。入荷量は、少なかった前年並の見込み。
トマト	⇒	↗↗	↘	↓↓↓	主産地は熊本・栃木県。熊本県は生育良好だが、栃木県は小玉傾向。入荷量は多かった前年並の見込み。
びわ	↗	⇒	⇒	⇒	主産地は長崎県。ハウスびわが中心。千葉県産も中旬から出回る。低温での遅れも、回復する見込み。入荷量は前年を上回る見込み。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 今月の青果物

キャベツ類

主要産地のキャベツ類の入荷量（東京都中央卸売市場）

産地	29年4月入荷量	29年4月シェア率
神奈川県	8,617 t	44.0 %
愛知県	7,484 t	38.2 %
千葉県	2,682 t	13.7 %
茨城県	491 t	2.5 %

今後の競合産地の動向は？

東京都中央卸売市場におけるキャベツ類の主産地は、愛知県と千葉県、神奈川県です。3月は愛知県産が中心で、4月以降は関東近県の産地が中心となり、千葉県産は5月をピークに6月まで出荷が続きます。その後は、北関東・東北へと主産地が切り替わって行きます。

本年は、10月下旬の台風や低温・少雨の影響から生育が遅れていました。しかし、2月下旬からは、気温の上昇と適度な降雨により、生育が回復し、3月中旬の入荷量は平年を上回りました。

各産地の4月の入荷見込みは次のとおりです。

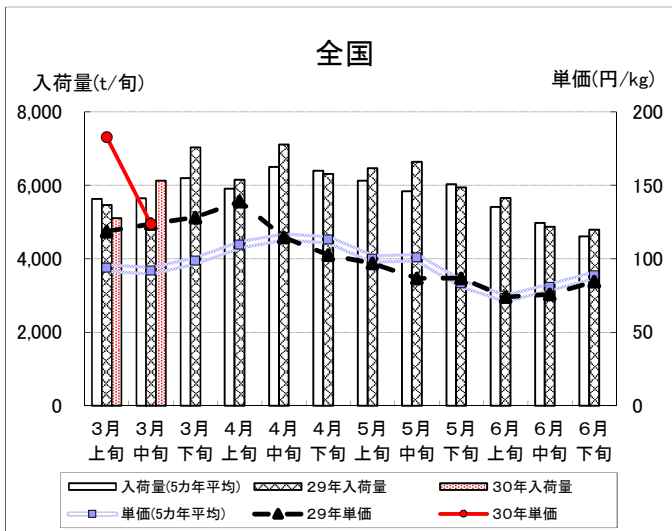
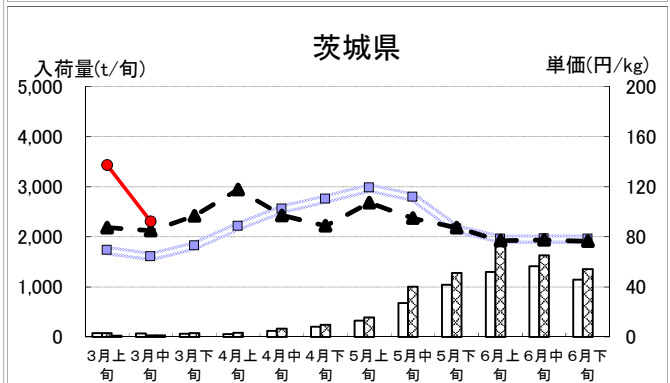
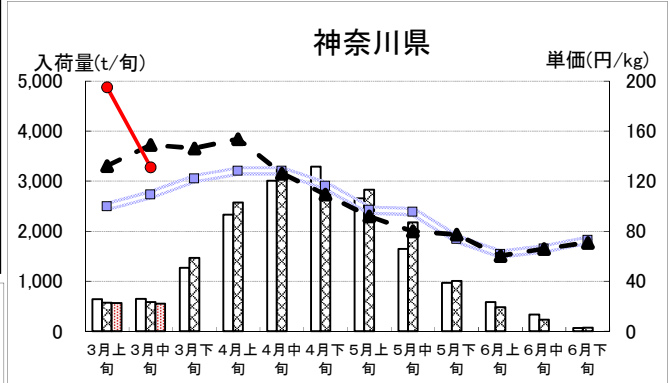
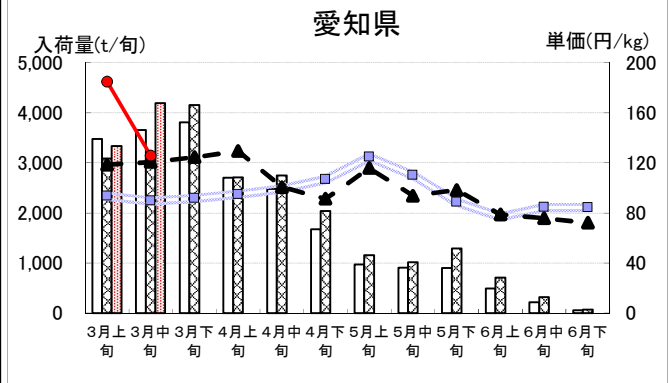
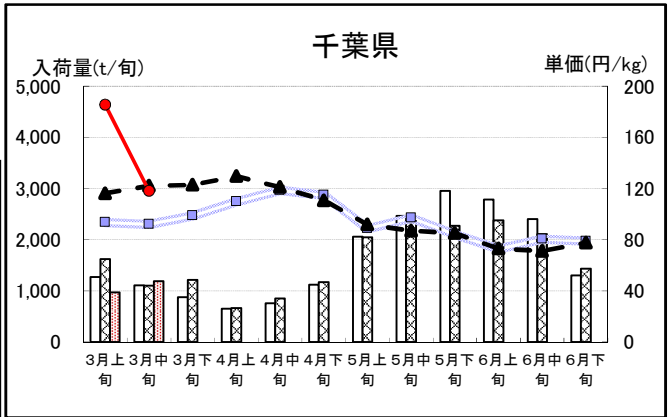
愛知県産は、高値の影響から出荷が前倒しであったため、入荷量は多かった前年をやや下回りますが、平年並の見込みです。

神奈川県産は、定植作業の遅れもあり、出荷は大幅に遅れていましたが、回復してきています。入荷量は、徐々に増量し後半には平年を上回る見込みです。

千葉県産は、台風後に定植したものが中心となります。生育は概ね順調で、入荷量は平年並の見込みです。

全体では、入荷量は多かった前年並で、平年を上回る見込みです。

4月入荷予測	19,570t(前年比100.0%、平年比104.1%)		
4月価格予測	110円(前年比92.9%、平年比97.7%)		
4月市況予測	(上旬) 弱保合 ↘	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 弱保合 ↘



II 花き(切花)情報

3月(中旬)までの経過

彼岸需要である3月中旬は平年に比べ入荷量がやや下回り、相場はかなり下回った。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	全体では平年並であったが、輪菊(白色系)は入荷が遅れ、平年を大幅に下回った。3月中旬では、菊類が平年をかなり下回り、スターチスは平年をかなり上回った。
相場	業務需要鈍く、平年をかなり下回った。
動向	菊類を中心に業務需要の引き合いが弱い。トルコギキョウは台湾産の割合が増加した。

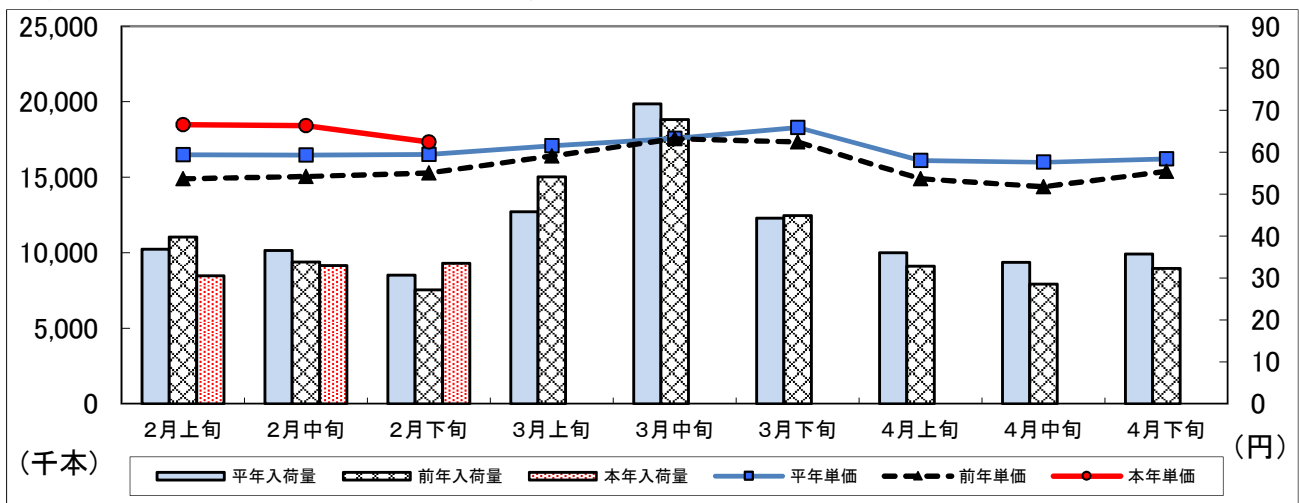
品目別経過

品目	経過
輪菊	(株)大田花き 彼岸に向けた販売が中心となるが、月を通して下位等級が少なく、彼岸の注文に対して納めきれない状況。上位等級はやや販売苦戦。
ストック	F A J 千葉県などから入荷。上旬は入荷少なく高値となったものの、反動などで中旬は相場下落。厳しい販売になった。

4月の見通し

品目	見通し
カーネーション	(株)大田花き 国産が安定した入荷となり、SPは端境なく出てくる見込み。母の日需要期を控え、落ち着いた取引となる。
カラー	(株)大田花き 湿地性カラーは千葉県中心に出荷ピークとなり数量まとまる。色物については千葉県の畑作中心に一部輸入品が入荷する。

2月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成
平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	H30.2月				累計 (H30.1～H30.2月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	19,095	0.92	249	1.24	38,168	0.90	249	1.26
だいこん	2,023	0.80	165	1.87	4,020	0.76	174	2.12
にんじん	1,183	0.90	166	1.13	2,297	0.84	157	1.12
はくさい	1,620	0.86	152	1.56	3,848	0.87	135	1.48
キャベツ	2,830	0.78	214	1.87	5,567	0.75	196	1.87
ねぎ	815	0.90	378	1.31	1,744	0.90	349	1.23
トマト	540	0.88	400	0.94	1,235	0.98	401	0.92
きゅうり	526	0.71	361	1.23	994	0.70	405	1.23
ばれいしょ	1,616	1.41	125	0.54	2,939	1.30	122	0.56
たまねぎ	2,018	1.00	109	1.15	3,981	1.04	105	1.17
レタス	739	0.83	337	1.59	1,395	0.77	367	1.79
果実	4,305	0.86	430	1.12	8,533	0.82	431	1.16
みかん	1,089	0.72	308	1.18	2,548	0.67	327	1.35
かき類	27	0.90	361	1.16	108	0.73	332	1.17
グレープフルーツ	55	0.96	268	1.09	139	1.22	249	1.00
なし類	13	6.20	276	1.42	33	2.18	303	1.13
ぶどう類	10	0.68	598	1.63	19	0.49	638	1.76
いちご類	607	0.99	1,207	1.01	1,039	0.93	1,306	1.03
すいか類	2	0.55	488	1.15	3	0.47	411	1.06
メロン類	66	1.40	270	0.60	108	1.32	315	0.59
バナナ	359	0.95	164	1.00	741	0.88	162	1.07
りんご	719	1.01	296	1.10	1,394	1.09	282	0.99
その他	281	1.04	200	0.97	521	0.93	225	1.01
青果物合計	23,681	0.91	281	1.19	47,222	0.88	281	1.22

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	H30.2月				累計 (H30.1～H30.2月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	2,953	0.89	64	1.18	5,839	0.91	65	1.12
きく	913	0.89	65	0.95	1,872	0.88	68	1.00
バラ	137	0.94	84	1.25	285	0.97	76	1.12
カーネーション	373	1.05	47	1.17	752	1.13	46	1.08
枝物	100	0.93	113	0.98	187	0.92	107	1.01
鉢物	78	0.96	142	1.10	141	0.89	148	1.18
その他	1	0.50	132	2.31	2	0.50	72	1.99
花き合計	3,132	0.89	68	1.17	6,169	0.91	69	1.12

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

IV や っ ち ゃ ば 閑 話

「コストカット」

新年度最初のやっちゃば閑話です。初めての方も引き続き見ていただいている方も、園芸市場情報をご愛顧いただきたく存じます。

こちらのコーナーは閑話なので、ごゆるりと気楽な気持ちでお読みいただきたい。

季節は春を迎えている。2月の寒さから一転して3月は暖かい日が多く、春の花々も例年より早めに咲き乱れている。心躍る季節であるが、花粉症持ちには辛い時期でもある。杉花粉量は前年の夏の気象に左右され、気温が高く、日照時間が長く、雨が少ないと多くなるそうで、昨年はまさにそのような気象条件であった。杉の花粉症対策品種の苗木配付が増加しているとのことであるが、すぐに普通の杉がなくなるわけではない。まだまだ花粉症とお付き合いをしていかななくてはならず、薬代やマスク、花粉対策スプレーなどにコストをかけなくては日常を過ごせない。そのコストカットのために、色々サプリメントも試してみたものの劇的な効果は得られておらず、逆にコストは増すばかり…。

暖かくなったことで農産物価格も一気に落ち着いた。前号でもあったが、冬季は野菜の値段が異常に高かった。スーパーで、キャベツ1玉500円以上で売られているのも見かけた。このような状況下での千葉県フェアとなり、高いからこそ頑張って販売促進をしなければとの気持ちで関係各社と行ったが、フェア感を出すためには各々負担が大きくなってしまったように思える。「価格は正直だから何とか下げてほしい」と店舗担当者から良く言われた。

どのような商品でも基本的に、メーカー側（生産者）は高く売りたい、消費者は安く買いたい、この需給バランスで価格は決まっていく。この中で利益を増やすためには高付加価値化も重要であるが、効率化により生産コストを下げつつ利益を確保し、消費者への提供価格を抑えるよう努めることも重要であると考え。

農業経営の中ではコストをしっかりと把握できている方が少ないと感じるが、経営目標を立てるためには必須でないだろうか。何か無駄に使っている物が無いか、コストをかけた分だけの効果があるか、見直してみてもどうか。ただしコストだと思って削った結果不利益を被る可能性もあるため、何が必要な経費で何がカットできる部分かは慎重に検討してほしい。（前号もぜひお読みいただきたい）

また、今回の農産物の高騰は台風の影響も大きかった。このような災害などのリスク回避のための技術導入や、設備投資することで安定した供給をしていただきたい。

ちなみに、私もこの時期に花粉症対策に係る家計費をカットしたいので「これが効いた！」という情報あれば導入したいので、どうか教えてください。

（樺太探検隊）

V 首都圏揭示板



カラー産地見学会及びフェアの開催

首都圏マーケティングセンターでは、(株)大田花き、全農千葉県本部、JA きみつ、君津農業事務所と連携し多店舗展開する小売店の販売員を対象に3月6日にカラーを中心とした産地見学会を行いました。また、同小売店にて3月7日～14日に君津のカラーフェアを開催しました。

産地見学会では、水生カラーの特徴である自噴井戸で水をかけ流しにする圃場で、生育の様子を見学した他、JA きみつの集荷場で、花の荷姿について生産者から、説明を行いました。当日は、2つの生産者団体が参加しましたが、各々の特徴を説明しつつ、共同で参加者と交流を図りました。

3月7日から行われたフェアでは、カラーのアレンジや花束が販売されており、関係者とともに店舗を訪問しました。店頭での咲き具合やシワの出方について確認するとともに、花の使い勝手について産地と意見交換しました。

産地見学会は複数年行ってきた取組みで、多くの店舗担当者の方に参加いただいた結果、フェアの際には詳細な産地紹介文が掲載されるようになりました。

産地見学会は生産側と販売側の相互理解が深まり、消費者の求める花きの提供に繋がりますが、開催には産地側の主体的な企画が必要となります。ぜひ、やってみたいという産地があれば御相談ください。



圃場でのカラー生産の説明



カラーの荷姿について説明



カラーフェアの様子



読者の皆様へのお知らせ

暦の上では春ですが、まるで初夏のような陽気が続いています。今年の今頃にはやっと咲き始めだった大田市場の桜は、最早満開に咲いており、新しい門出を祝福するにふさわしい景色となっています。

さて、4月1日付けの定期人事異動により、首都圏マーケティングセンターも下記のとおり新体制でのスタートとなりました。

今年度も引き続き、本県産青果物・花きの有利販売に向け、流通販売情報の収集・発信、首都圏におけるセールスプロモーションの展開、量販店等大口需要に対応したオール千葉での販売体制づくりの推進等に取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

記

平成30年度

農林水産部流通販売課首都圏マーケティングセンター職員

職	氏名	連絡先
室長	宇都宮 康	〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1 大田市場事務棟4階 電話：03-5492-5416 FAX：03-5492-5407
副主査	入倉 敏広（新任）	
副主査	大崎 望将（新任）	
副主査	間宮 悠介	